

素晴らしい先生、友達、そして環境がある

R.H.

獨協医科大学 医学部 医学科 進学
水戸市立 三の丸小学校 卒業

授業は生徒が理解しやすく、興味をそそられるような様々な工夫がされているように感じます。中でも特に印象に残っているのは、中学生の理科でカエルの解剖をしたことです。カエル以外にも様々な生き物の解剖や観察ができ、自分の目で見て、自分の手で触れることができるため、より理解も深まり、とても楽しく学ぶことができるのではないかと思います。また、課外授業も幅広いレベルでたくさん用意されているため、自分のレベルにあった授業を受けることができます。そして、私は中学3年から医学コースに入り、様々な活動を通して医学に対する興味を深めてきました。実際に医療現場の最前線で働く医師や看護師による講座、病院見学、チーム医療育成研修、心肺蘇生法講座など様々な講座を受けることができます。高校生になると専門の先生による小論文講座なども始まり、受験に向けたアドバイスもたくさんして下さいます。特に高校3年は本格的な受験対策のため、小論文だけでなく、面接練習なども丁寧にご指導して下さいます。受験期直前は焦りや不安を感じていましたが、先生方も忙しい中、何度も面接練習をして下さり、とても心強かったです。医学部に合格できたのも、この医学コースに入り、様々な経験ができたからなのではないかと思います。

6年間で最も印象深い思い出は「部活動」です。私は中学で陸上部、そして高校ではJRC部とESS部に所属していました。陸上部では個人種目だけでなく団体種目もあり、仲間とのチーム力が高められたと思います。また、中1から高3の6学年全員で活動するため、先輩や後輩との交流も多くでき、楽しく活動できました。JRC部ではボランティア活動、ESS部では英語劇をするなど、新たなことにチャレンジすることで、新しい自分を知ることでもでき、良い経験になったと思います。部活動だけではなく、茨中・茨高で過ごしたどの時間も私にとって良い思い出になっています。

茨中・茨高の良いところはいくつもありますが、特に私が良い点だと感じることは、素晴らしい先生、友達、そして環境があるということです。先生方は朝から放課後まで質問の対応をして下さり、手厚く指導してもらえるので塾に行かなくても、しっかり勉強ができると思います。また、個性豊かな友達もたくさんでき、自分自身も成長できた部分が多くありました。そして、教室や自習室などで勉強する生徒が多く、友人の頑張る姿を見ながら、自分も勉強に集中することができるような素晴らしい環境もあり、茨中・茨高の良い点だと考えています。

大学進学後は医学の学習はもちろんのこと、様々な活動を通じて医師に必要な倫理観や人間力も高めていきたいと思っています。そして、茨中・茨高で培ってきた報恩感謝の精神を持ち続け、一人ひとりに寄り添うことのできる優しい医師になれるよう、努力し続けていきたいです。